

七里ガ浜ホーム玄関に凧！

2024 年年末～2025 年年始は、初めて七里ガ浜ホーム正面玄関に凧を飾りました。



凧上げは年始に邪気を払うために行われる風呂敷凧が始まりともいわれています。

凧は風によって高く上がる事で悪い気を遠ざけ、良い気を呼びこむ役割を果たし、祈りや願いを天へ届けるという意味もあったようです。

凧の起源は、古代中国で始まったとも言われています。当時は軍事的な目的で使われたとされてきました。

特に敵の陣地を偵察するためや、戦略的なメッセージを伝えるために凧が使われました。その後、凧上げはアジア全体に広まり、さまざまな文化や伝統の中で使われるようになりました。

日本には平安時代に伝わってきたと考えられており、最初は貴族の遊びだったようです。戦国時代には武士が通信手段の一つとして使用していました。

江戸時代になると凧あげは庶民に広まり大人気となったそうで、あの葛飾北斎の絵にも凧上げの様子が描かれた作品が2点残されています。

北斎の絵では、日本の象徴である富士山より高く上がる凧に希望と願いを感じます。



「富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略圖」



「富嶽三十六景 東都浅草本願寺」

「♪もうい〜くつ寝ると〜お正月〜♪ お正月には凧あげて〜 ♪」

誰もが耳に懐かしいこのお正月の童謡。ここにも凧は登場します。

凧上げがお正月の楽しみだった事がうかがえます。

お正月の風物詩である凧が今年も皆様の願いを叶えてくれますように。。。